

学力向上グングン塾便り

令和4年11月
NO. 7
稚内市教育研究所

保護者アンケート ご要望・ご意見を紹介します!

グングン塾では、毎年2回アンケートを実施しています。前号では前期アンケートの中から、子どもたちの様子についての結果と項目ごとの文章記述の一部を紹介しました。

今号では、その他にグングン塾に寄せられた声を紹介し、グングン塾の指導に対する期待と激励のお言葉をたくさんいただき、ありがとうございました。

要望については、現時点での考えをお伝えしたいと思います。

【要望】他学年でも実施してほしい。4年生も週2回実施してほしい。

- 今年度も低学年からの実施や高学年での実施を望む声がありましたが、指導員などの人材の確保の面からも現状を維持するのが精一杯です。毎年要望を頂きながら、ご期待に沿えず申し訳ありません。

【要望】少人数制でじっくり取り組んで欲しい。

- 「少人数でじっくり」は指導員も共通の思いです。現在、参加児童が20人前後のグングン塾で、少人数で学習する機会を取り入れているところがあります。一人ひとりの学習状況を丁寧に見取ることができ、個々の学びに応じた支援を行いやすいという良さがあります。

しかし、30数名になると、指導員の人数や教室の確保、子ども達の学習状況などで難しくなります。グングン塾スタート時はコロナ対策として、学級別グループ・2教室での実施になりました。各教室に一定の人数がいますので、指導の中心となる指導員とサポートの補助員・支援というT・T(チームティーチング)という指導体制での学習にならざるを得ません。学習の様子を見て回り、理解度やつまづきに応じて支援をしています。

コロナ禍が落ち着いてからは、学習内容の理解度により課題別・習熟度別グループ学習も取り入れるなど支援の工夫に努めていますが(その際に少人数グループになることがありますが)、「少人数でじっくり」というのは難しさがあります。

【要望】グングン塾からも宿題プリントを出してもらえると有り難い。

- 各校では、学習習慣の確立や学習内容の定着を図ることを目的に、宿題・家庭学習が課題として出されたり、自主学習が推奨されたりしていることと思います。子どもたちは放課後1時間近く学習して帰宅し、その後、学校からの宿題・家庭学習に取り組む訳ですから、グングンから宿題プリントを課するのは大きな負担と考えます。友達と遊ぶ時間や本を読んだりのんびりしたりする時間も子どもの成長には大事な時間です。それらの時間も保障してあげたいものです。

とはいえ、少しの宿題プリントしかしない、というお子さんを見て、もう少しプリントがあればと思う親御さんの気持ちもわからなくありません。グングンで学んできたことをお子さんから聞きながら自主学習で取り組むよう助言をしたり、100マス九九やあまりのあるわり算に親子でチャレンジしたりするのも良いかも知れません。しりとりも遊びながら語彙を増やすことができます。

米ときや食後の後片付けや食器洗い、お風呂掃除など役割をもたせて仕事をやらせ切ることで、段取り力や粘り強く物事に取り組む力、責任感などを育むことにつながります。これらは学習を支える土台の力です。

【要望】参加を前期・後期で分けて欲しい(冬場は日没が早く帰宅時の不安があるため)

- グングン塾はいつでも入退及び休塾が可能です。実際、日没が早い時期は休塾し3学期から再開するというご家庭、少年団の活動が忙しい夏の間はしばらく休塾するというご家庭もあります。特に、面倒な手続きはなく、休塾・再開のタイミングで、指導員に連絡カードでお知らせいただくか、教育研究所に連絡をいただければ幸いです。

【要望】1年間の内容など、前もって分かるとうり難い。

- 1学期は、前年度のCRT結果を分析し課題の見られるところを重点に定め、指導内容を決定しています(グングン塾だより NO.1 に掲載)。2学期以降は当該学年の復習になりますので、授業の進度や子どもたちの学習状況を把握し、学習計画を立てます。ですから、1年間の内容を事前にお知らせすることには難しさがあります。ご理解ください。



【要望】学習風景を直に見たい。様子を見たい。

- いつでも都合の良い時に参観していただいて構いません。是非、頑張っている子どもたちの様子を見にいらしてください。

【要望他】楽しいと思える工夫をお願いしたい。親は何か出来る事はあるのか知りたい。

- クイズやゲーム的な要素を取り入れるなど、楽しく学べる工夫をしていますが、分かって出来る事が学ぶ楽しさにつながると考えますので、これまで以上に一人一人の学びを支援していきたいと思えます。
「親に勝手にグングンに入れられた」「親に言われたからいやいや参加した」というお子さんが少なくありません。児童の話に耳を傾け、6時間終了後に学習することの大変さに共感し、努力や頑張りを褒めて激励する親子の対話があつてこそ、「勝手に入れられたグングン塾」であっても頑張ってみようとするやる気生まれるものだと思います。保護者の皆様には、是非、放課後学習に向かうエネルギーが子どもの中に生まれるよう、親子での対話や励まし、お子さんの話に耳を傾けるなどやっていると有難いです。保護者とグングン塾関係者が一緒になり、学校とも連携しながら、児童の「放課後の学び」を支援していくことが願いです。

【疑問】グングン塾のターゲット層はどこか。

- グングン塾は、「基礎学力の確実な定着を最大の目標として、併せて活用力や判断力、表現力の向上」、「学習する意欲を伸ばし、学習習慣を身につけること」をめざして実施しています。グングン塾の目的からすると「ターゲット層」としては、学習を苦手としていたり、勉強に困っていたり、まだ自学の力がついていないお子さんを想定していますが、希望者を全員受け入れています。
「九九」(3年)や「あまりのあるわり算」(4年)、ミニ読解など共通の問題に継続して取り組む事で四則計算の基礎を鍛え、前学年・現学年で課題の見られるところや必ず身に付けて欲しい内容に重点を於いて復習し、算数や国語の基礎基本の定着を図るようにしています。
基礎基本が定着しているお子さんは、応用発展の問題や基礎問題など個に応じた学習ができるようにしています。

東小・南小の指導員として勤務された渡邊えりか先生が11月第2週で退任することになりました。

今後は、椿・門馬指導員、横田・村上補助員、支援員さんの体制で指導にあたります。

